



## これまでの受賞作品一覧

	地域まちづくり部門	まちなみ景観部門
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境エネルギー館の整備・運営(鶴見区)</li> <li>横浜駅西口振興活動(西区)</li> <li>都心部を中心にした歴史を生かしたまちづくり啓発活動(中区、西区)</li> <li>仲町台駅周辺まちづくり啓発活動(都筑区)</li> <li>横浜駅西口駅前再開発事業(西区)</li> <li>元町仲通りまちづくり活動(中区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜フルポーターズ、ナビオス横浜と運河パーク(中区新港町)</li> <li>山手111番館とローズガーデン(中区山手町)</li> <li>洗手亭(中区山下町)</li> <li>大原隧道(南区清水ヶ丘)</li> <li>横浜ベイサイドマリーナ(金沢区白帆町)</li> <li>富岡川せせらぎ緑道(金沢区富岡西)</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴見西口オープンカフェの運営(鶴見区)</li> <li>横浜弘明寺商店街のまちづくり活動(南区)</li> <li>新横浜町内会のまちづくり活動(港北区)</li> <li>モザイクモール港北の建設と運営(都筑区)</li> <li>都筑民家園を巡る活動(都筑区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カトリック横浜司教館(中区山手町)</li> <li>横浜情報文化センターと横浜地方簡易裁判所(中区日本大通)</li> <li>グランノア港北の丘(都筑区大丸町)</li> <li>辺刈橋下流の水辺拠点(栄区上郷町)</li> <li>中丸家長屋門とその周辺(泉区新橋町)</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を生かした公園でのプレイパーク運営(神奈川区)</li> <li>東神奈川駅東口地区市街地再開発事業の実現(神奈川区)</li> <li>商店街の空き店舗活用による地域コミュニティ活動(保土ヶ谷区)</li> <li>旭ジャズまつりの企画・運営(旭区)</li> <li>横浜自然観察の森の案内・調査・環境管理活動(栄区)</li> <li>都市防災の研究・提言・知識の普及活動(全市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日産自動車横浜工場ゲストホール・エンジン博物館(神奈川区宝町)</li> <li>横浜港大さん橋国際客船ターミナル(中区海岸通)</li> <li>日本郵船歴史博物館(中区海岸通)</li> <li>馬車道のガス灯(中区港町～本町)</li> <li>フェリス女学院中学校・高等学校1号館(中区山手町)</li> <li>マーマシのはら保育園(港北区篠原町)</li> <li>天王森泉公園(泉区和泉町)</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりのルールを作成(神奈川区)</li> <li>災害に強いまちづくり(西区)</li> <li>障害者が生活しやすい環境づくり(中区)</li> <li>みんなに愛されるストリート(中区)</li> <li>まちづくりの交流・情報発信拠点(港南区)</li> <li>いきいき、楽しく環境活動(金沢区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧バーナード邸(中区本牧元町)</li> <li>二代目横浜駅遺構(ロワール横濱レムナンツ)(西区高島)</li> <li>ZAIM(ザイム)(中区日本大通)</li> <li>横濱媽祖廟(中区山下町)</li> <li>荒井沢市民の森(栄区公田町)</li> <li>日本大通りとオープンカフェ(中区日本大通)</li> </ul>
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>鴨居原市民の森を憩いの森にする活動(緑区)</li> <li>野毛大道芸でまちおこし(中区)</li> <li>助け合いの精神で港南エリアを中心とした住民生活をサポート(港南区)</li> <li>つづきのみんなで元気なまちづくり(都筑区)</li> <li>山下公園のコンビニエンスストアで子育て支援活動(中区)</li> <li>鶴見川流域での清掃・学習・人材育成活動(鶴見区ほか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストロングビル(中区山下町)</li> <li>日ノ出スタジオ・黄金スタジオ(中区日ノ出町・中区黄金町)</li> <li>鶴見川河口干潟「貝殻浜」(鶴見区生麦5丁目)</li> <li>アメリカ山公園(中区山手町)</li> <li>はまみらいウォーク(西区高島2丁目～1丁目)</li> <li>元町ペットバー(中区元町)</li> </ul>
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>新治市民の森一帯の里山景観と生物多様性を守り育てる活動(緑区)</li> <li>初黄・日ノ出町地区のアートによる安全・安心のまちづくり(中区)</li> <li>寺尾地区で身近なまちの暮らしを豊かにする活動(鶴見区)</li> <li>港南区の歴史を後世へ伝承する活動(港南区)</li> <li>高齢化が進む西柴を生き生きと暮らせる街にしたい(金沢区)</li> <li>六角橋商店街の新たな企画 空き店舗を活用したドッキリヤミ市場(神奈川区)</li> <li>下和泉地区での交通不便を解消 コミュニティバスの自主運営活動(泉区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨコハマアパートメント(西区西戸部町)</li> <li>防火帯建築を活用した吉田町のまちなみ(中区吉田町)</li> <li>日産グローバル本社NISSAN ウォーク・横浜三井ビルディング 公開空地(西区みなとみらい・西区高島1丁目)</li> <li>ザ・テラスノパークサイドカフェ(都筑区仲町台)</li> <li>BankART Studio NYK・創造空間 万国橋SOKO(中区海岸通)</li> <li>ラバンクドローア(中区山下町)</li> <li>山手ライナー(神奈川中央交通11系統(保土ヶ谷駅～桜木町駅) 60系統(磯子駅～南区役所))</li> </ul>
第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>京浜臨海部等での「トンボはドコまで飛ぶかプロジェクト」 (鶴見区、神奈川区)</li> <li>旭中央地区のコミュニティバス「四季めぐり号」の運行(旭区)</li> <li>金沢区でつくられる風景 ふるさと大道村(金沢区)</li> <li>環境意識を高め、歴史も知る大豆戸菊名打ち水大作戦(港北区)</li> <li>深谷台地域でのエリアマネジメント 地域課題の解決を实践(戸塚区)</li> <li>泉区いちょう団地での生活相談や学習支援 多文化共生の实践(泉区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>霞橋(中区新山下)</li> <li>横浜地方気象台とブラフ99ガーデン(中区山手町)</li> <li>神奈川大学横浜キャンパス3号館(神奈川区六角橋)</li> <li>横浜ベイクォーター(神奈川区金港町)</li> <li>旧伊藤博文金沢別邸(金沢区野島町)</li> <li>横浜公園(中区横浜公園)</li> <li>東横フラワー緑道(東急東横線 東白楽駅から横浜駅周辺)</li> </ul>

### 連絡先

地域まちづくり部門:横浜市都市整備局地域まちづくり課  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL:045-671-2939 FAX:045-663-8641  
まちなみ景観部門:横浜市都市整備局景観調整課  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL:045-671-3470 FAX:045-550-4935



## 第9回 横浜

# 人まちデザイン賞 2019

### 受賞活動・受賞景観集



#### 地域まちづくり部門

自ら主体となって創意工夫し、  
地域まちづくりを推進している活動



#### まちなみ景観部門

地域の個性と魅力をつくりだしている  
まちなみや建築物等



横浜市

# 横浜・人・まち・デザイン賞について

## 表彰目的

横浜市内での地域まちづくりに関して特に著しい功績のあった活動や、都市景観の創造や保全に寄与したまちなみを構成する建築物等を顕彰して、魅力あるまちづくりをより広く進めていくことを目的としています。

## 選考基準

### 地域まちづくり部門

横浜市内における、おおむね3年以上の取組実績がある地域まちづくり活動の主体である団体を対象としています。また、表彰対象の活動を支援した個人または団体も表彰します。

- 1) 公共性(地域社会への貢献)が評価されるもの
- 2) 積極性が評価されるもの
- 3) 地域住民等の幅広い参加や他団体との連携が評価されるもの
- 4) 今後の活動の継続性・発展性が評価されるもの
- 5) 創意工夫が評価されるもの

### まちなみ景観部門

横浜市内の「まちなみ」や「建築物等」で、おおむね10年以上に新しく造られたものや、歴史的建造物等再生されたものを対象としています。

- 1) 地域の個性と魅力にあふれた新しい都市景観の創造に寄与しているもの
- 2) まちの活性化に寄与し、賑わいのある都市景観を形成しているもの
- 3) 歴史的なまちなみ、及び自然景観の保全に寄与し、又はそれらと調和を保っているもの
- 4) 横浜らしさの演出に寄与しているもの
- 5) 都市景観と環境や福祉への配慮などの先進的な取組が調和しているもの

## 今回の応募状況

- 募集方法 募集リーフレットを区役所、地区センター、各鉄道駅、市内大学等で配布
- 応募状況 地域まちづくり部門:32通(25件) / まちなみ景観部門:121通(89件)

## 募集及び選考の流れについて

### 地域まちづくり部門

募集	平成30年5月1日～6月30日
選考(書類)	平成30年10月～11月
選考(部会)	平成30年12月14日

### まちなみ景観部門

募集	平成30年5月1日～6月30日
応募物件の調査	平成30年7月～11月
選考委員による現地調査	平成30年12月7日
選考	平成30年12月14日

活動の主体となる団体と、その取組を支援した個人または団体を表彰します	表彰式	平成31年5月9日	景観づくりに貢献した事業者、設計者、施工者などを表彰します
------------------------------------	-----	-----------	-------------------------------

## 審査委員一覧

### 地域まちづくり部門

横浜市地域まちづくり推進委員会 表彰部会

奥村 玄	株式会社GENプランニング 代表取締役
植松 満美子	市民委員
齋藤 保	株式会社イータウン 代表取締役
田邊 寛子	まちひとこと総合計画室 代表
室田 昌子	東京都市大学環境学部 教授

### まちなみ景観部門

横浜市都市美対策審議会 表彰広報部会

関 和明	関東学院大学建築・環境学部建築・環境学科教授(建築史)
大西 晴之	横浜商工会議所
塩田 久美子	市民委員
鈴木 智恵子	公益財団法人日本文藝家協会会員
中津 秀之	関東学院大学建築・環境学部建築・環境学科准教授(ランドスケープデザイン)

# ごあいさつ

「横浜は、本当に魅力的なまちですね」。嬉しいことに、そのようにお声かけいただく機会が増えています。美しい港や、開港以来の歴史と文化、豊かな水と緑。多様な魅力にあふれる横浜のまちは、「横浜・人・まち・デザイン賞」を受賞された、活発な「まちづくり活動」や魅力ある「まちなみ景観」づくりをはじめとする、市民の皆様による様々な取組に支えられています。

今年は、1859年の横浜開港から160年を迎え、8月開催の「第7回アフリカ開発会議」、9月開幕の「ラグビーワールドカップ2019™」と、世界各国からお客様を迎える催しが相次いで行われます。「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催も、来年に迫ってきました。このまたとない機会を捉え、横浜の魅力を国の内外へ発信し、新たな魅力の創出と、市民の皆様の心豊かな暮らしにつなげてまいります。

このたび受賞された皆様の活動がますます発展されますことを、心より祈念いたします。今後も、安心と活力ある将来へのまちづくりを、ご一緒に進めたいと願っております。



横浜市長 林 文子

## 第9回 横浜・人・まち・デザイン賞の選考にあたって

### 地域まちづくり部門

横浜市地域まちづくり推進委員会 表彰部会長

奥村 玄

第9回横浜・人・まち・デザイン賞の地域まちづくり部門には、自薦・他薦合わせて32件の応募がありました。有効応募数25件の中から6団体を受賞対象に選定いたしました。選考に際しては、ひとつひとつの活動について丁寧に情報を共有し、投票と意見交換を通じて決定しました。

応募された活動は実に多彩であり、テーマ、実施体制、取組期間のどれをとっても個性にあふれていました。また、これまでにない着眼点で進めてきた活動もあり、まちづくりの可能性はまだまだ広がっていると感じています。

その中で、今回選定された団体は、計画から実現へと長い年月をかけて粘り強く取り組み、珠玉の成果を上げた活動が多く見られました。いくつものハードルを乗り越えてきたことを伺わせる活動もあり、まちづくりにおける継続性の尊さを改めて実感しました。一方で、新しい世界を見せてくれた活動もあります。そして、いくつかの活動には子どもから大人までの関心を呼ぶウイットにあふれる部分があり、それが横浜らしいセンスとして輝いていると感じました。

これまで20年近くに及ぶ受賞団体の活動を振り返ると、その時々々の時代性を表すテーマを示すとともに、地域の独自性や人々が創り上げるつながりの温かさにまちづくりの多様性が表われています。

今回の受賞団体も横浜の地域まちづくりとしての誇りを持ち、ますます活動に磨きをかけられますよう期待しております。

### まちなみ景観部門

横浜市都市美対策審議会 表彰広報部会長

関 和明

9回目の横浜・人・まちデザイン賞まちなみ景観部門には、121の応募(総数)があり、重複を除くと89件、市内18の全ての区に分布しており、8割はウェブサイトを通しての応募でした。市民の方々がこの賞に関心をもたれ、多くの推薦があることは横浜の景観を良くする力だと思しますので、応募された方々に感謝いたします。

まず、事務局が89件の全てを現地確認して作成した1件ごとの調査表に基づいて、9件を選んで現地調査を行いました。その後、現地調査以外のものを含めた全ての中から、各委員が推薦した16件について、審査会の場で自由に意見を交わし合い、最終的に7件を受賞対象としました。

郊外私鉄駅周辺のパブリック・スペース、高速道路高架下の緑地、私鉄線路高架下の活用、住宅街にある既存建物の地域交流施設へのリノベーション、歴史的建造物の活用、夜景演出のアートイベント、大規模団地内のオープン・スペースというように、立地も規模も機能も多様な結果になりました。

今回の選考にあたっては、地域まちづくり部門との関連にも留意し、目に見える景観(かたち)として表現されたものが、どのようなプロセスを経て生まれたのか、創られたものがどのように運営されているのかという観点を委員全体が共有しました。

横浜のまちなみ景観が、社会の変化と地域の多様性に応じながら、より心地よく美しいものとして受け継がれていくことは、委員全員の願いであると同時に、市民のみなさんの願いでもあり続けるに違いないと思います。

## 第9回 横浜・人・まち・デザイン賞 表彰対象地区一覧

### 地域まちづくり部門

- 1 鶴見区の国道1号線沿いにおける住民と事業者が協働し実現した緑のまちづくり
- 2 市場西中町の歴史と地域のつながりを生かした防災まちづくり
- 3 美晴台の道に愛称をつけ、まちを分かりやすく、明るく、楽しく、魅力的にする
- 4 地域の魅力を生かした災害に強いまちづくり  
～寺前東町・寺前西町・金沢町地域の取組～
- 5 奈良町地域における交流拠点づくり  
～どんな時もつながり合える街の家族～
- 6 魅力あるまちを次世代に引き継ぐ緑いっぱいでのまちづくり

### まちなみ景観部門

- 1 Tinys Yokohama Hinodecho(タイニーズ横浜日ノ出町)
- 2 CASACO
- 3 左近山みんなのにわ
- 4 横浜北線及び岸谷生麦線高架下緑地  
～首都高高架下からキリンビール横浜工場へと続く緑豊かな散策路～
- 5 THE BAYS & 中区役所別館
- 6 スマートイルミネーション横浜
- 7 たまプラーザ駅とたまプラーザ テラス



## 鶴見区の国道1号線沿いにおける住民と事業者が協働し実現した緑のまちづくり

### 活動概要

北寺尾地区では、国道1号線の開通等に伴って「みどり」の減少が進んでいました。地域住民は沿道の民有地を緑化する計画を立て、店舗や教育機関等にも参画を呼びかけ、緑化活動を始めました。地道な働きかけにより、多くの市民や組織がお互いの立場を超えて協力し、駐車場の高木植樹や学校の壁面緑化など、計15か所を整備し、「沿道の里山」として「みどり」の再生を進めています。

その活動は「みどり」の再生だけでなく、小・中学校と連携し、季節のイベントなどを通じて、子どもたちに自然の大切さを伝えるなど、まちづくりとして広がりを見せています。

国道1号線という公共性の高い場所で活動を展開することで、「沿道における緑化」をテーマとした新たなまちづくりのモデルとなることを目指しています。

### 表彰理由

国道1号線という大動脈の沿線の緑化整備を、住民のみならず沿線の事業所・店舗や学校も巻き込みながら7年間継続実施してきた。緑化も樹木の植樹にとどまらず、生態系への配慮、店舗の敷地内や高く長い圧迫感のあるコンクリートの壁面緑化といった大規模なハード整備から、地道な清掃活動、みどりと野鳥の観察会など、さらには、小中学校の総合学習授業や緑化地域清掃などにも位置づけ環境を学ぶ機会となるなど、多岐にわたる活動は、住民や事業所の意識向上にも大きく寄与する素晴らしい機会となっている事が高く評価できる。今後多様な世代、主体が関わり継続的な活動を通じた、地域コミュニティが醸成されることに期待したい。(齋藤委員)



- ◆活動団体 鶴見「みどりのルート1」をつくる会
- ||活動場所 鶴見区北寺尾交差点付近を中心とした国道1号線周辺
- ||活動団体ホームページ <http://tsurumimidori-r1.jp>

## 市場西中町の歴史と地域のつながりを生かした防災まちづくり

### 活動概要

旧東海道に沿って発展してきた下町のにぎわいが魅力のまちです。古くからの街並みは狭い道路や行き止まりが多いほか、古い木造住宅が密集しています。平成15年に「防災上課題のある密集住宅市街地」として、市から選定されたことをきっかけに防災まちづくりの取組を始めました。地域が一体となり、粘り強く地権者や関係機関へ働きかけることで、道路拡幅(ゆうづる歩道)を実現しました。この他にも、防火水槽やかまどスツールを備えた広場(きらきら公園)の整備や「通り名プレート」の設置等、多くの成果をあげています。

「旧東海道」、「一里塚」といった歴史的資源や今まで培ってきた地域のつながりを生かし、「安心・安全・美しい町 ずっとここに住みたいと思うまち」の実現に向けて活動しています。

### 表彰理由

鶴見川に程近く、旧東海道を含む昔ながらの地域の持つ「つながり」を生かして、狭い道路が多く、木造家屋が密集していることに対する危機意識を町全体で共有することに成功しています。このため、道路に面した土地のセットバックを勧奨して道路の拡幅を推進、空き家の解体や道路の行き止まり解消のため住民と交渉し、協定を締結することで避難扉を設置するなど、地域全体の協力の下での防災対策の強化を実現しています。また、「まちづくりかわら版」の発行や「まちづくり川柳」の募集を通じて、高齢者から子どもまで幅広い世代の交流と地域に対する愛着を醸成して、将来的にも住み続けたいと思うまちづくりの継続を目指している点が高い評価となりました。(植松委員)



- ◆活動団体 鶴見区市場西中町まちづくり協議会
- ◆活動を支援した 株式会社アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ
- ||活動場所 鶴見区市場西中町

## 美晴台の道に愛称をつけ、まちを分かりやすく、明るく、楽しく、魅力的にする

### 活動概要

美晴台自治会では、地域の中で困っている人に手を差し伸べるまちづくりを目指しています。様々な高齢者支援を進めるうえで、整然とした碁盤目状の住宅地は、店舗等の目印がないため、訪問先が把握しづらく苦労していました。

そこで、誰もが歩いて分かりやすく、明るく、楽しく、魅力的なまちとなるよう美晴台の道に愛称をつける会は、すべての道31本に愛称(通り名)をつけ、愛称入りのサインやマップを住民自らで制作し、電柱や掲示板、住戸のフェンスに取付けました。小・中学校と連携して愛称の周知活動や大型イラストマップの制作を行い、整備後もサイン制作会や道の愛称を活用したイベントを開催し、子どもからシニアまでの多世代が交流する取組を進めています。

道に愛称をつける活動をきっかけに、まちの魅力が向上し、地域の連携・活性化がますます広がっています。

### 表彰理由

高度経済成長期に大規模に開発された地域の多くが直面する課題である町並みの経年変化や高齢化に関して、大変有効な対策を提示している好例であると考えられます。「ヨコハマ市民まち普請事業」への応募を契機に、町内の全ての道路に愛称を付けるために住民アンケートを実施。その活動を広報し学区小学校とも連携しながら、愛称を明示したサインの制作会ほか様々なイベントを開催。子ども達から大人までが関わる防災、防犯、そして相互扶助などの活動へと広範囲に広げ、自分達が住んでいる「まち」に対して継続的に関心を寄せてもらうことに成功しています。町内各所の掲示板、そしてサインの楽しさが、「見に行ってみよう」と思わせる町の魅力となっています。(植松委員)



▲愛称入りサインの制作会



▲子どもたちが作成したサイン

◆活動団体 美晴台の道に愛称をつける会

◆活動を支援した 美晴台自治会  
個人または団体 美晴台助け合いグループ

||活動場所 港南区上永谷三丁目、四丁目の一部

## 地域の魅力を生かした災害に強いまちづくり ～寺前東町・寺前西町・金沢町地域の取組～

### 活動概要

国道16号・京浜急行本線とシーサイドラインの間に位置する当地区は、「称名寺」、「県立金沢文庫」等の鎌倉時代からの歴史・文化が色濃く残るまちです。

平成15年に「防災上課題のある密集住宅市街地」として、市から選定されたことをきっかけに、地域住民は防火性を向上するための取組を開始しました。

「地域の魅力を生かした災害に強いまちづくり」を目標とし、狭い道路の拡幅、防火水槽やかまどベンチを備えた防災広場(金沢八幡公園)の整備等を行政と地域が協力しながら実現していききました。

自助・共助力を高めるため、子育て世帯向けの防災イベントや称名寺での消火訓練に取り組むなど、地域の歴史的資産も生かしながら、世代を超えた地域コミュニティの活性化を目指して活動しています。

### 表彰理由

ヒアリングやアンケートにより多世代に対し丁寧に意見を吸い上げ、地域住民の関心の高い「防災まちづくり」を主テーマに活動を行っている。防災まちづくり計画を作成し地区の現況と課題の把握、将来像の共有、環境改善策の検討などをまとめた上で、協議会が前面に立って調整することで防災機能改善設備の早期実現が図られている。また、それらを活用した防災訓練活動を実施し、子どもを含む多世代の顔の見える関係づくりや防災に対する意識を高めあっている。特に小学生によるmy減災マップづくりなどの防災学習、市立大の協力による空き家調査など「意識向上」と「備え」に対し活動が展開していることは、他地区にも参考となる取組である。(田邊委員)



▲小学生による「減災マップ」作り



▲称名寺での消火栓取扱い訓練

◆活動団体 寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会

||活動場所 金沢区寺前一丁目、二丁目、金沢町

## 奈良町地域における交流拠点づくり ～どんな時もつながり合える街の家族～

### 活動概要

東日本大震災をきっかけとして「いざという時に、必要な互助のつながりが必要」という思いから、空き家になっていた一軒家を利用して、三世代が関わり合える交流拠点を開設しました。

子育て世代のつながりを核として、子育て広場、地域の達人による講座、季節のイベントなどを年間100件以上開催しています。これらの活動はシニア世代の住民が中心となって支えています。地域ケアプラザ、教育施設、病院等の利用者と日常的に交流することで、様々な人達が自然に触れ合う場となっています。

6年間の活動を経て、「街の家族」をキーワードにして、子育て世代の親子とシニアによる三世代協同の輪が地域に広がっています。

### 表彰理由

空き家になっていた一軒家を利用したコミュニティハウスを設置し、ママさん世代の繋がりを活動のコアに据えて、地域での子育て見守り合い生活の場でのシニアの居場所・子育てとシニアの三世代交流活動という3つの柱で多世代が大家族のように交流を深めている姿は、広義としての地域福祉像を具現化している。この活動を支える建物オーナー、運営メンバー、支援者、利用者の関係の融合の賜物である。運営方法にも工夫があり、無償ボランティアをベースにしながらも、利用者登録・利用料や催し物への参加費などで多少の運営資金を確保している。今後の継続的な活動のためには有償ボランティアベースへの移行も視野に更なる広がりが期待される。(田邊委員)



▲子育て広場での絵本読み聞かせ



▲利用者によるハロウィンパーティー

◆活動団体 街の家族運営委員会

◆活動を支援した 特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク 谷口和豊  
個人または団体 横浜市立大学 准教授 三輪律江

||活動場所 青葉区奈良町

||活動団体 街の家族ホームページ:  
https://www.machinokazoku.info  
Facebookページ:  
https://www.facebook.com/machinokazoku/

## 魅力あるまちを次世代に引き継ぐ 緑いっぱいのもちづくり

### 活動概要

街が出来て40年が経過し、当初は輝いていた街並みが衰え、活気が失われているという思いから、元のように魅力ある美しい街にしよう活動が始まりました。

「街全体の緑化・活性化」を目標に公共施設だけでなく民間事業者にも粘り強く参画を呼びかけ、中心部(センターゾーン)の緑化を進めました。さらに取組を広げるために、戸建て住宅の緑化計画を公募し、街全体での緑化の枠組みを作りました。定期的で開催されるみどりの講習会は、住民同士の交流の場にもなっています。

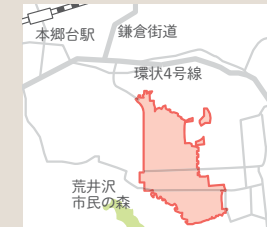
中学校との協働による緑化活動や福祉施設のオープンガーデンを実施し、多くの住民が交流するなど、活動の主体が増えることで新たな交流が芽吹き、花開くことが、街の活性化につながっています。

### 表彰理由

湘南桂台は、昭和40年代後半から入居の始まった住宅地で、高齢化が進む一方で、地域の活力と持続性を高めることをめざして平成26年に地域の緑化計画を作り緑化活動を始めた。「魅力あるまちを次世代に引き継ぐ緑いっぴいのもちづくり」として活動を行い、この間、街全体の緑化や活性化を進めることを地域の方針とし、街の中心部や小中学校の周辺、商業施設などの民間施設、住宅地などの緑化を積極的に進めてきた。地域に愛着を持つ多くの住民らで活発に活動を進めた結果、現在、「花と緑でいっぱいになった街」として既に成果をあげており、今後、更に持続的な活動をめざしている。従って、本賞の表彰に相応しいと考えます。(室田委員)



▲福祉施設「明」のオープンガーデン



▲中学校と協働による植樹

◆活動団体 湘南桂台みどりの会

◆活動を支援した 株式会社農村・都市計画研究所  
個人または団体 石井造園株式会社 大橋庭園株式会社

||活動場所 湘南桂台自治会区域(栄区桂台中学校ほか)

## Tinys Yokohama Hinodecho (タイニーズ横浜日ノ出町)

### 概要

日ノ出町エリアの魅力向上・活性化のため、高架下でトレーラーハウスを活用し展開する複合施設です。3棟の移動式タイニーハウスから成る「タイニーズホステル」、飲食はもちろん、まちに開かれたコミュニティスペースである「タイニーズリビングハブ」、大岡川でのSUPなどを楽しむことができる水上アクティビティ拠点「パドラーズプラス」で構成され、2018(平成30)年4月にオープンしました。

### 所在地

中区日ノ出町

### 講評

市内にある高架下の面積を合算すると、かなり大きな面積になると思われるが、地域の個性に合致し、かつ活性化・環境・安全等に貢献出来ているものは案外少ないのではないだろうか。

本施設は規模こそ大きくないが、トレーラーハウス・木材・スチール・ガラス等の活用によりモダンな空間を創出し、SUP置場設置により、水上アクティビティだけでなくボランティア活動として大岡川の環境保全にも協力が得られ、周辺の人々を巻き込んでいる点を評価したい。時代のニーズ変化に対しても柔軟性・発展性・順応性が大きく、今後の展開に期待する。(大西委員)



- 事業者:京浜急行電鉄株式会社
- 事業者:YADOKARI株式会社
- 活用者:横浜SUP倶楽部
- 活用者:水辺荘
- 発案:NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター

## 左近山みんなのにわ

### 概要

左近山団地の中にある広場を2017(平成29)年に改修したものです。広場には、団地住民が考えた「広場でやりたいこと」を実現するために、囲碁や読書のできる木陰の縁台、古いプールを改修したデッキステージ、住民みずからが製作したベンチなど様々なものが仕掛けられており、住民の暮らしが感じられる空間になっています。

### 所在地

旭区左近山

### 講評

団地再生がテーマのコンペティションで選ばれた案に基づき、既存の中庭が新しい広場に生まれ変わった。事業者である管理組合がコンサルタントやデザイナーと協働して実施案を決める過程では、住民参加のワークショップを繰り返し、幅広い世代の住民たちが各々の居場所を見つけて楽しめるように計画されている。

既存のものを活用することによる、風景の記憶を継承するデザインに加え、管理と運営が行き届いている点も高く評価できる。オープンスペースの創造的な使用が、空き家活用などの課題へ取り組む際のヒントとなることも期待される。(関委員)



撮影 マルモ出版



撮影 菅原康太

- 事業者:左近山団地中央地区住宅管理組合
- コンサルタント:株式会社都市環境研究所
- 設計者:株式会社スタジオ・ゲンクマガイ
- 施工者(広場):一造園土木株式会社
- 施工者(広場):株式会社やまひろ

## CASACO

### 概要

「ヨコハマ市民まち普請事業」により築約70年の長屋をリノベーションし、多世代多国籍の人々が集う場所として2016(平成28)年にオープンしました。建物外観の中でも特徴的なのは誰でも気軽に入りやすく感じられるよう開放された軒先で、石畳には野毛坂のピンコロ石を再利用しています。2階はホームステイ中の留学生などの居室となっている一方、1階はイベントなどを開催する多目的なスペースとなっています。

### 所在地

西区東ヶ丘

### 講評

今、境界線が騒がしい。世の中のあらゆる事象に白黒の区別をつけ整理整頓することで、経済の高度成長を促してきたのは遙か昔のこと。白黒を明示していた境界線が、実はグレーな「ゾーン」である事実気付くことが、最も価値のある都市の生活空間を創り出すために求められている。

CASACOは、公共空間と私有空間の境界線を惜しみなく破壊することで木賃アパートの接道部を完全に開放空間に変換し、私有地を積極的に公共空間化することで創り出された地域拠点である。住民みんなが「私の家」と思える、地域プライドの孵卵器だ。(中津委員)



撮影 大高隆



- 事業者:NPO法人Connection of the Children
- 設計者:tomito architecture
- 施工者:株式会社ルーヴィス
- 施工者:似て非works株式会社

## 横浜北線及び岸谷生麦線高架下緑地

~首都高高架下から麒麟ビール横浜工場へと続く緑豊かな散策路~

### 概要

工場立地法における「敷地外緑地制度」を横浜市内で初めて活用した約1.8haの緑地です。首都高速道路の高速神奈川7号横浜北線及び市道岸谷生麦線の高架下に位置する敷地にあり、麒麟ビール株式会社横浜工場が2017(平成29)年に整備を行い管理しています。緑地には、日陰に強い植物などを中心に植栽しており、無機質になりがちな高架下の空間を彩っています。

### 所在地

鶴見区生麦

### 講評

横浜・山手にあった麒麟ビールの工場が生麦に移ってから90年余り。木が一本もない埋立地から始まった工場は1991年の全面リニューアルで緑豊かなファクトリーパークへと大変身し、市民に一部開放された緑地は長らく地域の憩いの場であった。道路建設によりその形を変えたが、横浜北線と岸谷生麦線の広大な高架下空間の緑化を行い、工場内の芝生広場、ピオトープ、麒麟栈橋までをつなげ、約1km続く緑豊かな散策路となった。道路という位置づけではあるが、工業地帯にある貴重な憩いの場として、今後様々に使うことでさらに地域に溶け込んでいってほしい。(鈴木委員)



- 事業者:麒麟ビール株式会社横浜工場
- 設計・施工者:内山緑地建設株式会社
- 協力:首都高速道路株式会社
- 協力:横浜市

## THE BAYS & 中区役所別館

### 概要

1928(昭和3)年に日本綿花横浜支店として建設された歴史的建造物で、2003(平成15)年に横浜市が取得しました。現在は中庭を挟んで西側の旧事務所棟が「THE BAYS」、東側の旧倉庫棟が「中区役所別館」として活用されています。

【THE BAYS】2005(平成17)年から若手アーティストの活動拠点「ZAIM」として暫定活用されていましたが、2013(平成25)年に横浜市指定有形文化財に指定され、2017(平成29)年に耐震補強等の改修工事を終えた後、創造産業を集積し、賑わいの創出及び経済の活性化につなげる創造界隈拠点として活用されています。

【中区役所別館】2013(平成25)年に横浜市認定歴史的建造物に認定され、2015(平成27)年に耐震補強等の改修工事が完了し、中区役所の福祉保健センター等が配置されました。

### 所在地

中区日本大通

### 講評

日本大通り入口で昭和初めのモダンな香りを漂わせるTHE BAYS & 中区役所別館。かつての日本綿花横浜支店事務所とその倉庫は、竣工から90年、幾多の変遷を経て、スポーツをコンセプトとした商業施設と公共施設に姿を変えた。横浜DeNAベイスターズ運営のTHE BAYSは広告サインなどのデザインも周りの景観に配慮し、歴史的建造物のギャラリーのような街並によく溶け込んでいる。さらに魅力的なオープンカフェは新たな賑わいを創り出し、横浜公園から日本大通りへと人を誘う流れが生まれた。(鈴木委員)



- 所有者:横浜市
- 設計者:横浜市建築設計協同組合
- 施工者(THE BAYS):株式会社小俣組
- 施工者(中区役所別館):株式会社渡辺組
- 活用事業者(THE BAYS):株式会社横浜DeNAベイスターズ
- 活用事業者(中区役所別館):横浜市

## たまプラーザ駅とたまプラーザ テラス

### 概要

1966(昭和41)年に開業した東急田園都市線たまプラーザ駅の周辺を開発する計画として、2005(平成17)年から2013(平成25)年まで工事が行われ、低層の商業モール「たまプラーザ テラス」建設と共に鉄道施設が総合的に整備されました。人工地盤をつくり商業施設と鉄道施設を一体的に開発することで、線路を挟んだ駅南北の街に賑わいのつながりが生まれています。

### 所在地

青葉区美しが丘

### 講評

巧みに外光を採り入れる駅舎大屋根は、鉄道駅と商業施設を一体化し、明るく軽やかな吹抜けの拡がり、木々の緑に彩られた街に人々を誘う。駅周辺の複数のオープンスペースではイベントも開かれ、交流と賑わいに溢れた魅力的な空間が形成されている。地形を活かしてコンコース階に人工地盤を配し人々の流れを生むことで鉄道が分断する地域を繋ぐ、駅北側のバスターミナルを商業施設地下階に納め駅前広場にゆとりと落ち着きをもたらす、などの工夫が凝らされ、まさに街の顔、地域の核となっている。(塩田委員)



- 事業者:東京急行電鉄株式会社
- たまプラーザ テラス運営者:株式会社東急モルズデベロップメント
- 設計者:株式会社東急設計コンサルタント
- 設計者:株式会社大建設
- 施工者:東急建設株式会社

## スマートイルミネーション横浜

### 概要

2011(平成23)年に発生した東日本大震災を契機に、環境に配慮した景観づくりを目指す取組として毎年実施されているアートイベントです。歴史的建造物や都心臨海部を舞台に市民・アーティスト・企業・大学・地域などが一体となって、未来の夜景の在り方を考えるプログラムとなり、横浜の新しい魅力的な夜間景観を創り出しています。

### 所在地

中区海岸通ほか都心臨海部

### 講評

このアートイベントは、国際的な港湾都市・横浜発祥の地である「象の鼻パーク」をメイン会場に、アートと環境技術を結びつけた都市夜景の創造を目指して、2011年から継続して開催されてきた。参加アーティストは、招待作家と公募選考による作家からなり、毎回多彩な「光のアート」が夜の海辺に繰り広げられる。来場者も参加できるワークショップや展示作品の表彰もあり、晩秋の夜のパブリック・スペースに賑わいを生んでいる。市内各地域にも関連したプログラムが広がりつつあり、横浜の夜の景観を彩るユニークな風物詩として定着している。(関委員)



【photo:AMANO STUDIO】



- 事業者:スマートイルミネーション横浜実行委員会

## 第8回 横浜・人・まち・デザイン賞 受賞作品

### 地域まちづくり部門



農作業を通じた住民の見守りと交流  
六ツ川野外サロンプロジェクト  
(六ツ川野外サロン)



保土ヶ谷の人・まち・文化を活かした街道のにぎわいづくり  
(ほどがや 人・まち・文化振興会)



六浦東地区の人材マップを生かした地域ぐるみのまちづくり  
(六浦東・地域子育て会)



港北区を拠点としたみんなで子育てをする環境づくり  
(特定非営利活動法人びーのびー)



中川駅前商業地区の安全で魅力的なまちづくり  
(特定非営利活動法人ぐるっと緑道)



「まち工場」による地域子育て支援  
～東山田準工業地域の取り組み～  
(一般社団法人 横浜の・まち・ひとづくり)

### まちなみ景観部門



restaurant pétale de Sakura  
(レストラン ペタルドゥ サクラ)  
(泉区弥生台)



みなまき みんなのひろば  
(旭区柏町)



minaGARDEN 十日市場  
写真提供:小川重雄  
(緑区十日市場町)



「夢の舞の岡」と命名されたまちの玄関  
(戸塚区舞岡町)



神奈川大学横浜キャンパス29号館  
(国際センター)  
(神奈川区六角橋)



新横浜公園から見た大瀬川トラス橋  
(港北区新羽町(大瀬川トラス橋) / 小机町(新横浜公園))



旧開通合名会社の煉瓦壁  
(中区北仲通)



横浜海岸教会  
(中区日本大通)